

自衛隊神奈川地方協力本部

CH-47J体験搭乗

神奈川地本カレッジ防衛モニター 亀谷 拓海

12月11日(日)、カレッジ防衛モニターとして、入間基地で行われたCH-47Jの体験搭乗に参加した。入間基地に入ると、基地を横断するように西武池袋線が走っており、敷地内を電車が走り、また踏み切りもある光景がとても珍しいと感じた。

待合室があるターミナルに入ると、目の前に広がるエプロンには数機のC-119中型輸送機が駐機していた。同輸送機を間近で見るのは初めてで、その大きさと数の多さに驚かされた。C-119輸送機が駐機されたその横では、既に今回搭乗するCH-47Jの体験搭乗が行われていた。ヘリの体験搭乗は、その日の気象条件によって実施するかどうかの飛行決心が行われるそうで、当日は晴天に恵まれ、風もない絶好の飛行日和となったことに幸運を感じた。

待ちに待った搭乗の順番になり、安全教習を受けた後、搭乗するヘリに向かった。搭乗する際には、メインローターからの風が強く吹き付け、普通には歩けないくらいであった。入間基地を離陸し、約20分程の短いフライト時間であったが、飛行中には隊員が普段使っているヘルメットを被せてもらったり、上空から見る東京の絶景を楽しめるなど、とても有意義な時間を過ごせる一日となった。

CH-47J体験搭乗

神奈川地本カレッジ防衛モニター 井上 美桜

12月11日(日)、カレッジ防衛モニターとしての活動として、入間基地で行われた輸送ヘリコプターCH-47Jの体験搭乗に参加した。

当日は天候にも恵まれ、上空から連なる山や広がる海、高層ビル群などを眺められ、またスカイツリーと富士山を同時に見ることができるといふ貴重な体験をすることができた。CH-47Jが飛行している様子は、これまでも自衛隊記念日観閲式の際など何度か観る機会があり、飛行時の音が小さく静かなヘリだと思っていたが、実際に搭乗する際にヘリに近づくと、2つのローターによる台風並みの風圧と爆音を体感し、とてもパワフルなヘリコプターであることが分かった。

今回特に私が感動したのは、離着陸時のスムーズさである。身体に感じる衝撃や振動はほとんどなく、いつ離陸したのか分からないほど安定していたため、とても安心感があり、飛行機やヘリコプターが苦手な人でも大丈夫なのではないかと感じた。

今回の活動を通じて、実際に体験してみないと分からない様々な気付きを得るなど、非常に有意義な時間を過ごすことができた。機会があれば、是非また参加してみたい。

CH-47J体験搭乗

神奈川地本カレッジ防衛モニター 勝呂 拳人

12月11日(日)、カレッジ防衛モニターとして、入間基地で行われたCH-47Jの体験搭乗に参加した。

当日基地に到着すると、先月訪れた入間航空祭の賑やかな雰囲気とは違って、自衛隊の基地らしい独特の雰囲気を感じられた。基地ターミナルに入り、窓からエプロンを眺めると、中型輸送機C-119が何機もエプロンに駐機しており、体験搭乗に向けての気分も高揚してきた。

搭乗の順番になり、エプロンに出ると、今回搭乗するCH-47Jがすでに待機しており、ヘリのローターから発せられる台風並みの冷たい風圧が身体に吹き付け思わず身震いした。ヘリに搭乗すると、以前搭乗したP-3Cとは違った内部設計で、奥行の広い空間の両サイドに座席が展開していた。また手を伸ばせば届いてしまう天井は、奥行きがあるので不思議と狭さを感じさせなかった。

入間基地を離陸し、スカイツリー上空までを往復するフライトは、非常に安定感があつて楽な姿勢で外の光景を見下ろすことができ、上空からの絶景をまるで早送りで見賞しているようであった。